

一般財団法人くまもと SDGs 推進財団  
コンプライアンスに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、一般財団法人くまもと SDGs 推進財団（以下「当財団」という。）の倫理規程の理念に則り、当財団に関連する法令、定款又は内部規程遵守（以下「コンプライアンス」という。）上の問題を的確に管理及び処理し、もってその事業活動の公正かつ適正な運営に資するための組織及びコンプライアンス施策の実施及び運営の原則を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 当財団の役員及び職員（以下「役職員」という。）は、法令、定款及び内部規程の内容を真摯に受け止め、事業活動の業務遂行に際してはコンプライアンスを最優先する。

(組織)

第3条 当財団のコンプライアンスに関わる組織として以下のものを置く。

- (1) コンプライアンス担当理事
- (2) コンプライアンス委員会

(コンプライアンス担当理事)

第4条 コンプライアンス担当理事は、理事会において選任する。コンプライアンス担当理事は、理事会に対し定期的に当財団のコンプライアンス状況について報告する。

- 2 コンプライアンス担当理事は、コンプライアンス全般に関わる事項を所管し、コンプライアンスに関する各種施策を立案し、実施する責務を有する。
- 3 コンプライアンス担当理事の役割及び権限は以下の通りとする。
  - (1) コンプライアンス施策の実施の最終責任者
  - (2) コンプライアンス違反事例の対応の統括責任者

(コンプライアンス委員会)

第5条 コンプライアンス委員会は、代表理事を委員長とし、コンプライアンス担当理事と複数の外部有識者で構成する。

- 2 コンプライアンス委員会は、以下の事項を遂行する。
  - (1) コンプライアンス施策の実施の評価
  - (2) コンプライアンス違反事件について原因の究明に向けた分析及び検討
  - (3) コンプライアンス違反の関係者の厳格な処分の検討及び再発防止策の策定
  - (4) 第2号の原因究明に向けた分析及び検討の結果並びに第3号の処分再発防止策の公表
  - (5) その他コンプライアンス担当理事が指示した事項

(コンプライアンス委員会の開催)

第6条 コンプライアンス委員会は、必要に応じて、委員長の招集により開催する。

(報告、連絡及び相談ルート)

第7条 役職員は、コンプライアンス違反行為又はそのおそれがある行為を発見した場合は、速やかにコンプライアンス担当理事に報告する。ただし、内部通報（ヘルプライン）規程に基づく通報等を行った場合はこの限りでない。

2 コンプライアンス担当理事は、前項の報告でコンプライアンス違反行為又はそのおそれのある事象を知ったときは、直ちに事実関係の調査を行い、対応方針を検討し、代表理事の承認を受けて当該事象への対応を実施する。

(役職員のコンプライアンス教育)

第8条 当財団は、役職員に対してコンプライアンスに関する研修開催に努めるものとする。

(懲戒等)

第9条 役職員がコンプライアンスに違反する行為を行ったと判断された場合は、情状に応じてそれらの者を、懲戒処分に処する。

2 懲戒処分の内容は、当該処分の対象者が役員（監事を除く。以下本条において同じ。）の場合は、戒告とし、職員の場合は、就業規則に従い戒告、譴責、減給、出勤停止、降職・降格、諭旨退職又は懲戒解雇とする。ただし、役員の場合は、自主的に報酬を返納することを妨げない。

3 前項の懲戒処分は、理事会が決議し、代表理事がこれを行う。

(改廃)

第10条 金銭出納細則この規程の改廃は、理事会の議決を経て行う。

付 則

1 この規程は、2023年6月24日より施行する。